

台北日本人学校 校長室便り

家庭数配布

令和2年10月30日
台北日本人学校長 近藤裕敏

○10月の台北日本人学校

今年のスポーツフェスティバルはいかがでしたでしょうか。今年は土東國小のグラウンドを確保できたことで一日開催が可能になり、子供たちの力をより多く引き出せた取り組みになったと私たちは思っています。新校舎建設のため、広い場所での十分な練習はできませんでしたが、それでも一体感のあるSFであったと感じています。なによりも子どもたちが「不撓不屈」のスローガンの下で全力を出し切ったことが素晴らしかったです。元気いっぱいの子供たちの姿は何よりの贈り物です。今年の学校行事は残念ながらSFだけでしたが、一年分の元気を発揮できたと思います。

閉会式で言い忘れたのですが、世界中がまだコロナにより教育活動を制限されている中でこのような行事を実施できたのは、まず台湾政府のコロナ対策のおかげです。そして、日本人学校のために学校使用を快く了解してくださった土東國小の校長先生をはじめ先生方のおかげです。「沒問題」という台湾人の心の広さに感謝です。

さらに、日本人が台湾・台北で、そしてこの天母の地で生活している様を見て現地の方々が快く思ってくださっている事も大きな理由です。それは今までの先輩方と、皆様のおかげでもありません。ありがとうございます。来年ももう一度土東國小にお世話になる予定です。

SF一色の10月でしたが、例年の行事が戻ってきた後期のスタートでもありました。SFまでは学校内のいたるところで応援歌やそれぞれの練習風景が見られましたが、SF後は一転して落ち着いた学習する姿や次の行事に向けた活動があります。いつまでも立ち止まらない、前へ前へと成長していく子供たちの姿はたくましいです。



○全校保護者会より

全校保護者会でお伝えしましたが、今年度の学校運営に関しましてはGIGAスクール構想による



ICTの活用、とりわけPC端末一人一台常時使用による教育の充実を図ることに力を入れています。コロナにより日本国内でもオンライン授業が進み、よりICTを活用する流れが加速しました。その流れの中で、台北日本人学校もPC一人一台常時活用ができる環境を整備しました。実施につきましては、11月中旬より徐々に始めていきます。ICT(PC等)はあくまでもツールですが、すでに特別なものではなく、有効に活用することで学習をより進められるマストアイテムに変わってきました。個別学習や協同学習、そしてAIを使った自主学習ソフトの導入など、今授業で使っている以上に活用を広げます。さらに全クラスが同時に使えるようになります。新たな取り組みですが、子供たちが、自分で管理する力を含めてICT活用の意義を十分に理解し、次世代への新たな力を身につけるように指導していきたいと思っております。次回の活動報告をお待ちください。



ICTの活用、とりわけPC端末一人一台常時使用による教育の充実を図ることに力を入れています。コロナにより日本国内でもオンライン授業が進み、よりICTを活用する流れが加速しました。その流れの中で、台北日本人学校もPC一人一台常時活用ができる環境を整備しました。実施につきましては、11月中旬より徐々に始めていきます。ICT(PC等)はあくまでもツールですが、すでに特別なものではなく、有効に活用することで学習をより進められるマストアイテムに変わってきました。個別学習や協同学習、そしてAIを使った自主学習ソフトの導入など、今授業で使っている以上に活用を広げます。さらに全クラスが同時に使えるようになります。新たな取り組みですが、子供たちが、自分で管理する力を含めてICT活用の意義を十分に理解し、次世代への新たな力を身につけるように指導していきたいと思っております。次回の活動報告をお待ちください。

○お知らせ

今回も素敵なオリジナルグッズがあります。校長室便りに先行して販売しております校章のピンバッジ(100円)です。2010年の復刻版となります。私も日本人会等の会議には、上着のボタンホールに着けて出席しております。また、11月中旬に事務室に届きますが、校名入りのボールペン(350円)ならびにシャープペンシル(300円)です。どちらもぺんてる社製で高級感のある

(実際に高級)本体には台北日本人学校のロゴが光っています。値はしますが、価値は十分にあると思います。いつまでも台北日本人学校生の誇りを持てるような記念品としました。一度ご覧ください。

